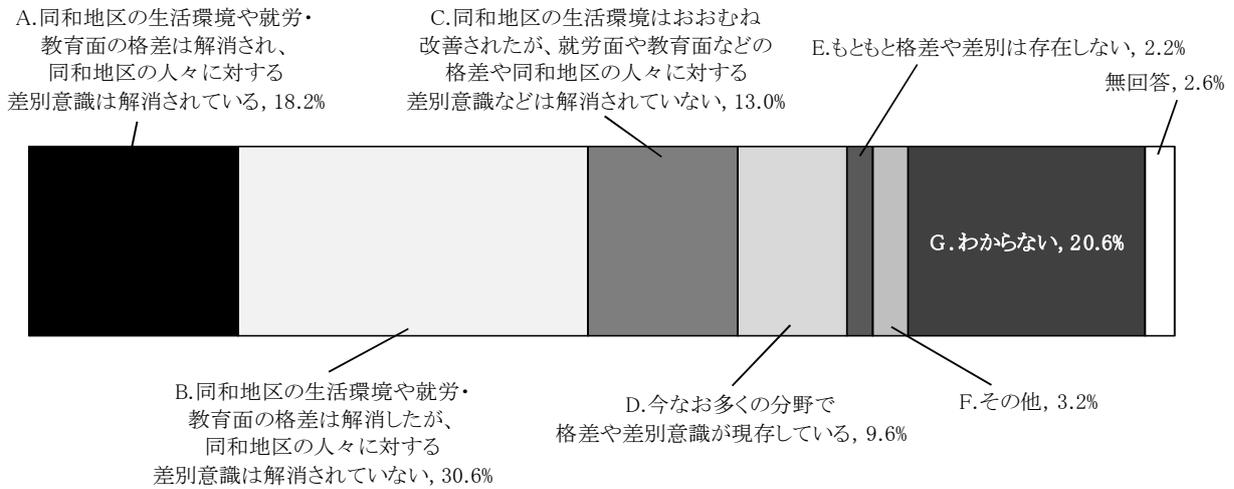


## 問 12（部落差別の現状についてどう思うか）

部落差別の現状についてあなたはどのように考えていますか。次の中から最もあなたの考えに近いものをお答えください。（ は1つだけ）

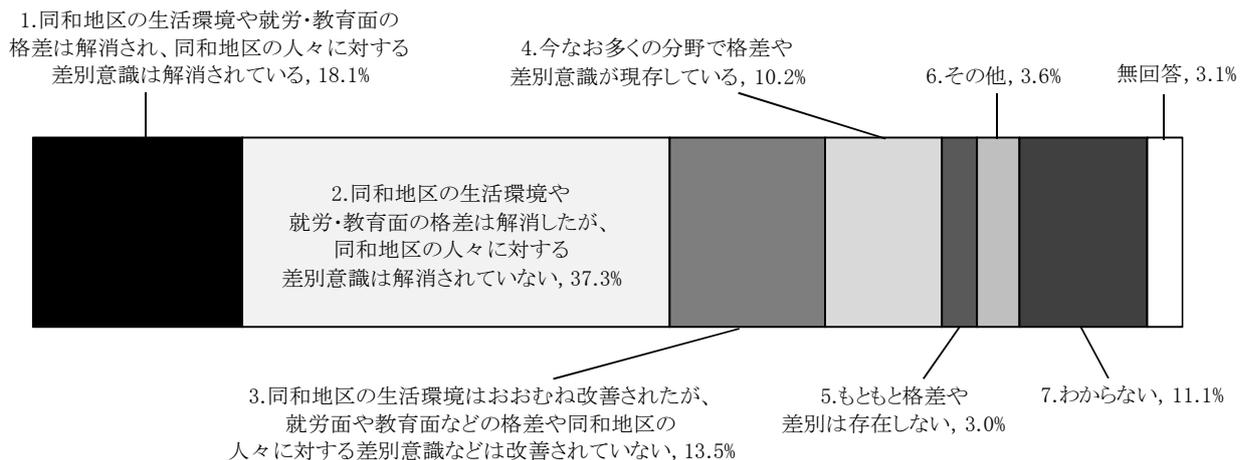


■部落差別の現状の認識については、「B. 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」（30.6%）が最も高い。次いで「G. わからない」（20.6%）、「A. 同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている」（18.2%）、「C. 同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない」（13.0%）などとなっている。

### 【参考】

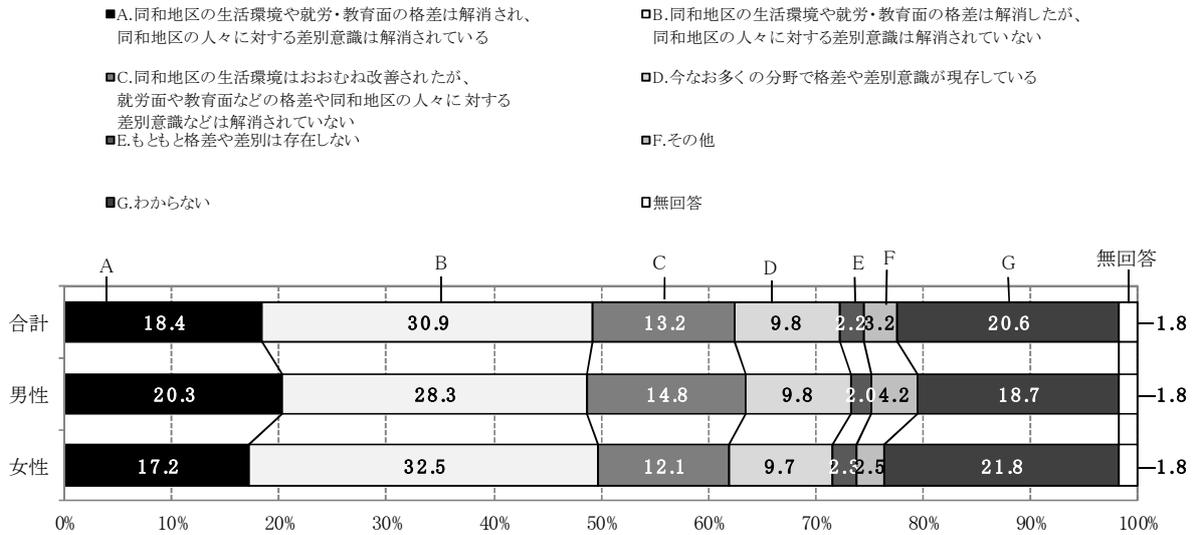
#### 前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 11 部落差別の現状についてあなたはどのように考えていますか。次の中から最もあなたの考えに近いものをお答えください。（ は1つだけ）



## 【性別・年齢との関係】

【図 12-1】 問 12 部落差別の現状についてどう思うか と 性別 の関係

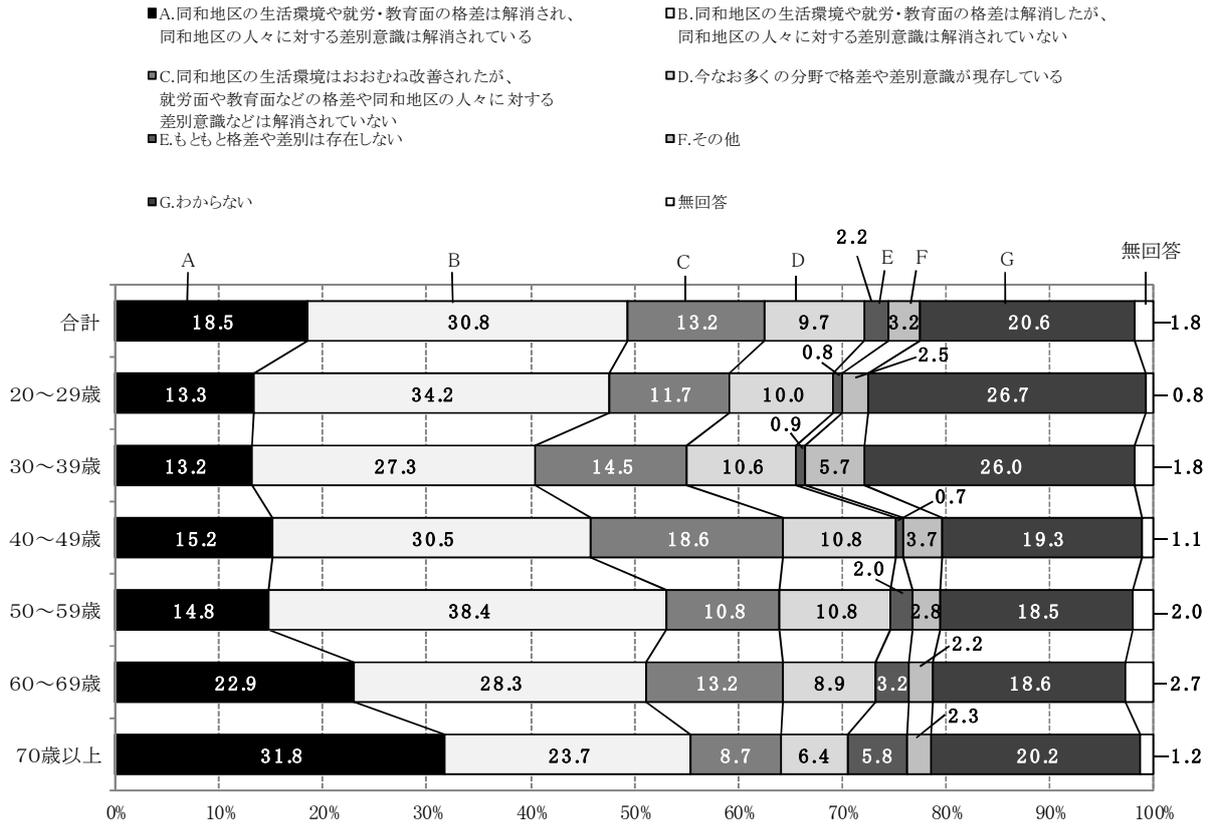


性別でみると【図 12-1】、「A.同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている」は、男性 20.3%、女性 17.2%と男性がやや高い。

反対に、「B.同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」は、男性 28.3%、女性 32.5%と女性がやや高い。

また、「C.同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない」は、男性 14.8%、女性 12.1%となっている。

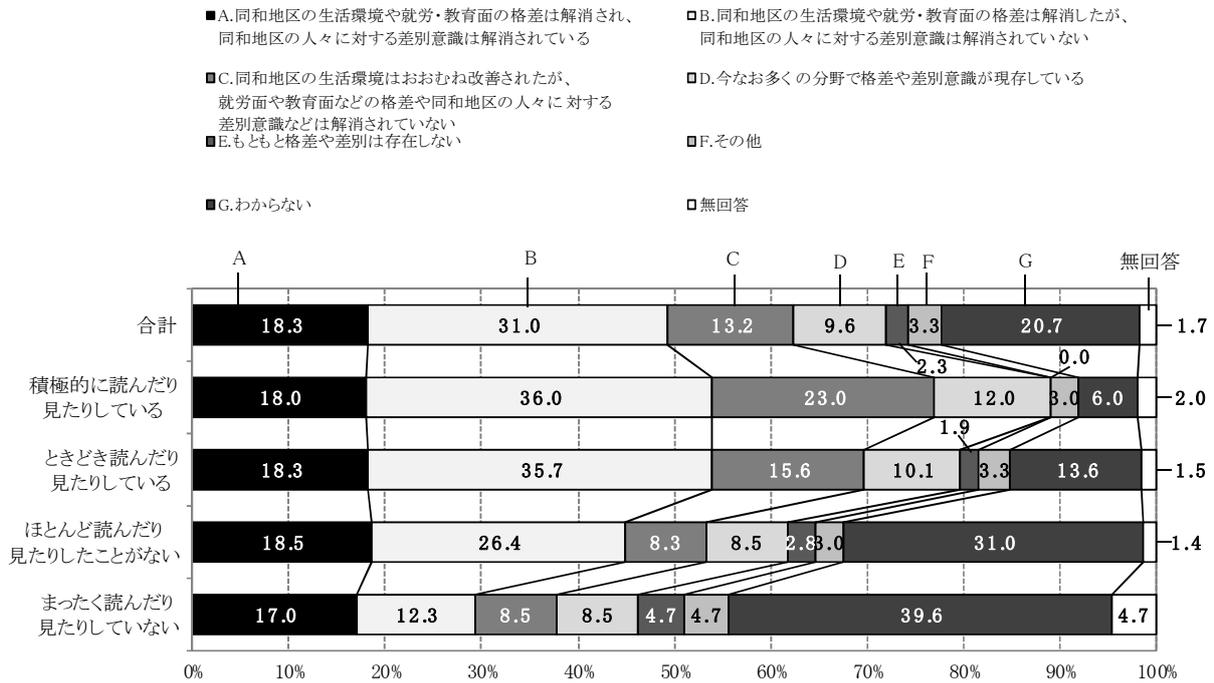
[図 12-2] 問 12 部落差別の現状についてどう思うか と 年齢 の関係



年齢別でみると[図 12-2]、20 歳代、40 歳代、50 歳代で 3 割以上の方が「B.同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」と回答しており、20 歳代から 60 歳代ではこの回答割合が最も高い。また、70 歳以上の人は「A.同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている」が 3 割以上と最も高くなっている。

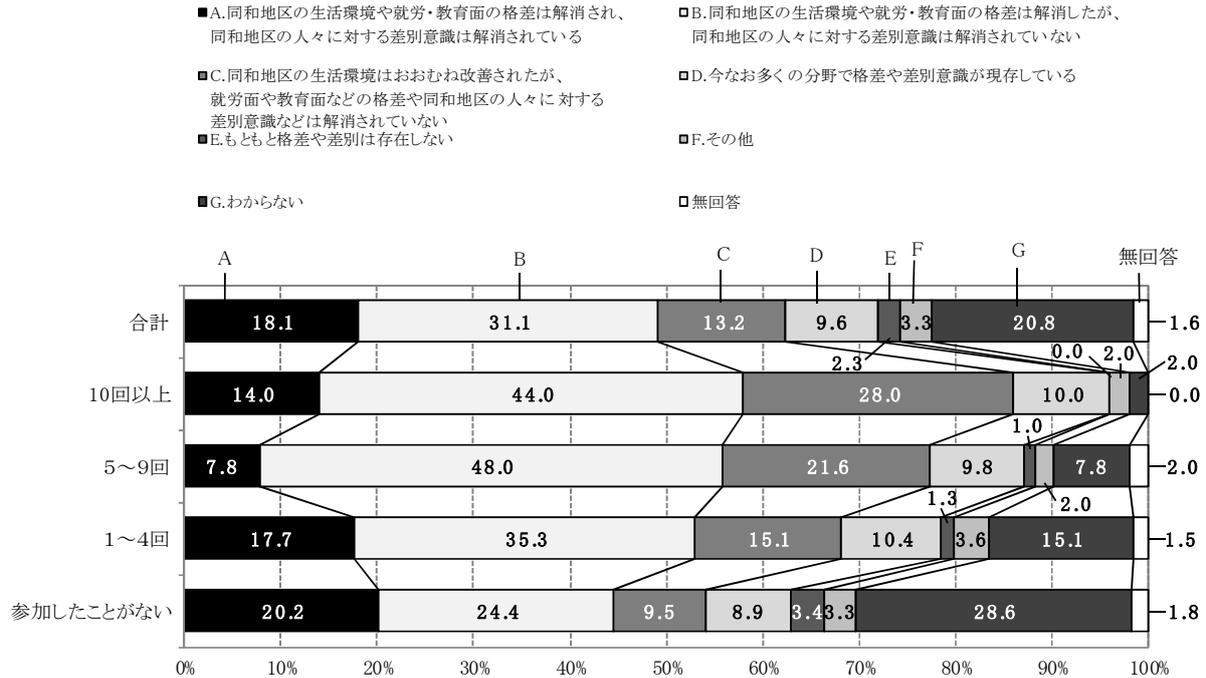
【他の設問との関係】

〔図 12-3〕 問 12 部落差別の現状についてどう思うか と 問 8-① 啓発物に触れた経験 の関係



問 8-（啓発物に触れた経験）との関係では、「積極的に読んだり見たりしている」、「ときどき読んだり見たりしている」〔図 12-3〕と回答した人ほど「B.同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」、「C.同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない」が高くなっている。

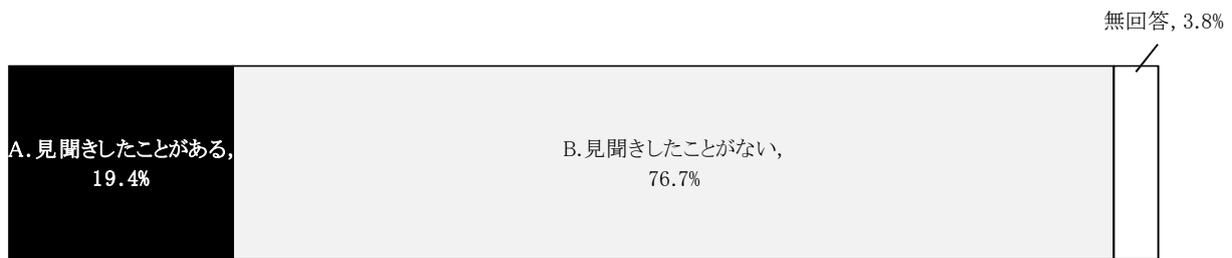
〔図 12-4〕 問 12 部落差別の現状についてどう思うか と 問 9-① 研修会の参加回数 の関係



問 9- (研修会の参加回数)との関係では〔図 12-4〕、5回以上研修会に参加した人の4割以上が「B.同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」と回答している。

問 13-① (過去5年以内の部落差別についての見聞き)

あなたは、ここ5年間で同和地区の人々に対する差別的な発言や行動を直接見聞きしたことはありますか。(は1つだけ)

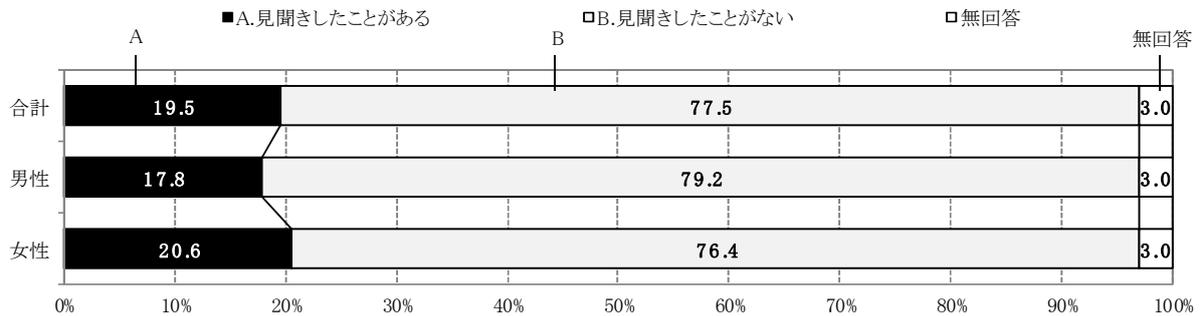


■部落差別について、ここ5年間で差別的な発言や行動を直接見聞きしたかどうかについて、「A.見聞きしたことがある」が19.4%と約2割の人が見聞きしたことがあると答えた。一方で、「B.見聞きしたことがない」と答えた人の割合は76.7%だった。

前回調査なし

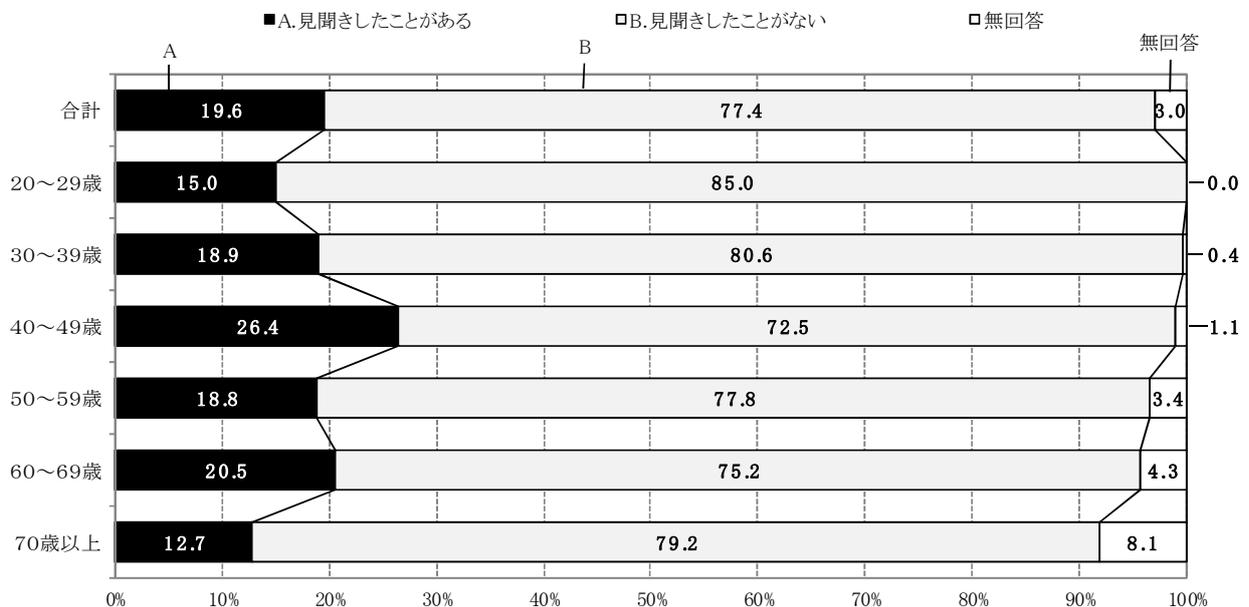
【性別・年齢との関係】

[図 13-1] 問 13-① 部落差別についての見聞きと 性別 の関係



性別でみると[図 13-1]、「A.見聞きしたことがある」は、男性では17.8%、女性では20.6%。「B.見聞きしたことがない」は、男性では79.2%、女性では76.4%となっている。

[図 13-2] 問 13-① 過去5年以内の部落差別についての見聞き と 年齢 の関係

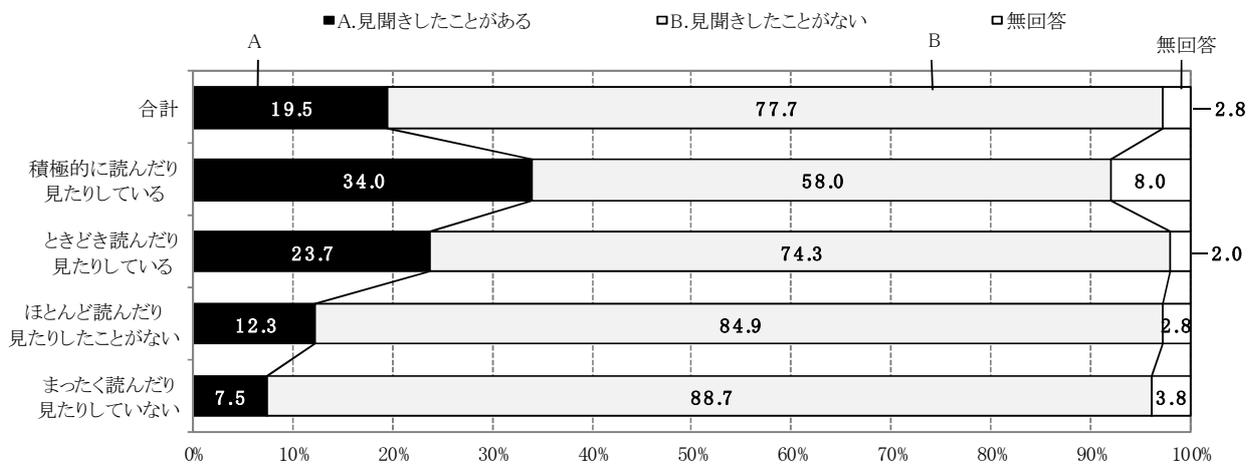


年齢別でみると[図 13-2]、40歳代、60歳代で「A.見聞きしたことがある」が2割を超えている。また、「B.見聞きしたことがない」は20歳代、30歳代で8割を超えている。

【他の設問との関係】

[図 13-3] 問 13-① 過去5年以内の部落差別についての見聞き と

問 8-① 啓発物に触れた経験との関係



問 8 - (啓発物を読んだり見たりした経験がある)との関係でみると[図 13-3]、啓発物を読んだり見たりしている人ほど「A.見聞きしたことがある」の割合が高くなっており、まったく読んだり見たりしていない人では1割未満となっている。

問 13-② (部落差別についての見聞き—その時の対応)

問 13-① で「見聞きしたことがある」を選択された方におたずねします。その時、あなたは どうしましたか。( は1つだけ)

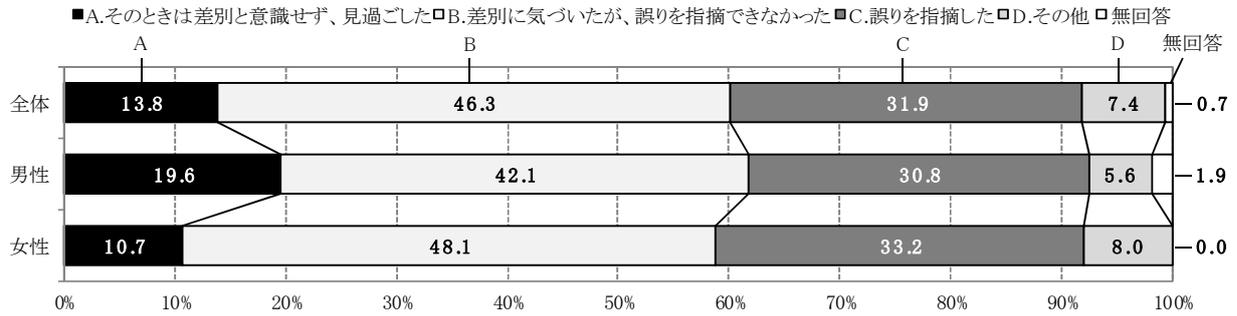


■問 13-①で「見聞きしたことがある」と答えた人のその時の行動について、「A. そのときは差別と意識せず、見過ごした」が13.8%。「B. 差別に気づいたが、誤りを指摘できなかった」が46.3%となっている。また、「C. 誤りを指摘した」と答えた人は31.9%となっている。

前回調査なし

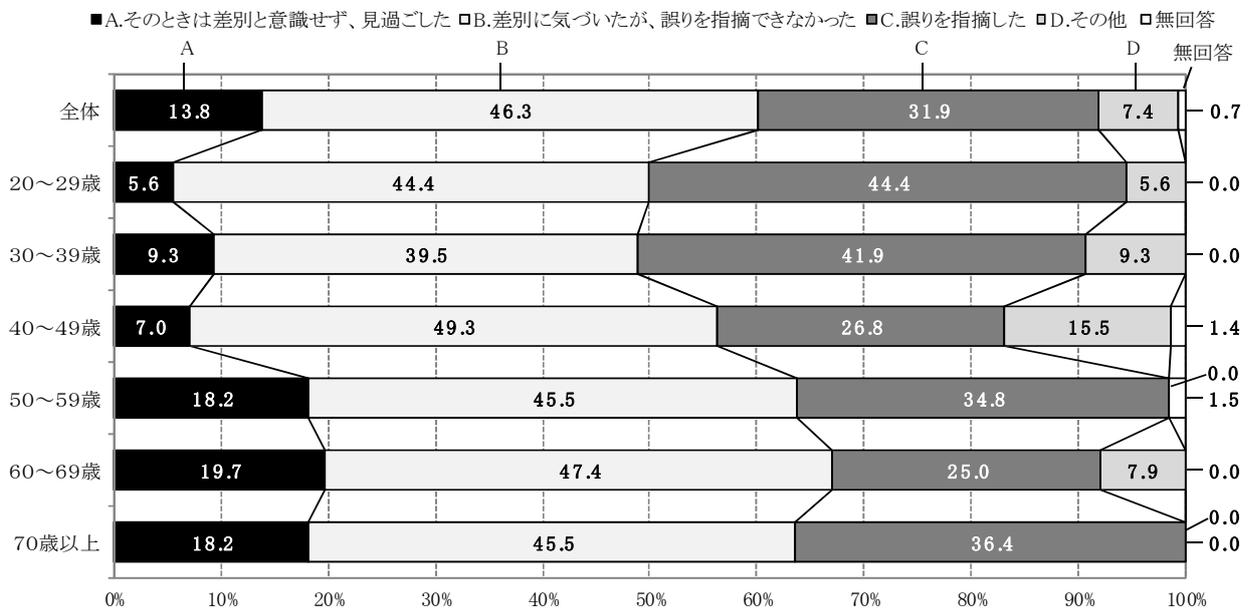
【性別・年齢との関係】

〔図 13-4〕 問 13-② 部落差別についての見聞き—その時の対応 と 性別 の関係



性別でみると〔図 13-4〕、「B.差別に気づいたが、誤りを指摘できなかった」が男性、女性とも4割以上と最も高くなっている。

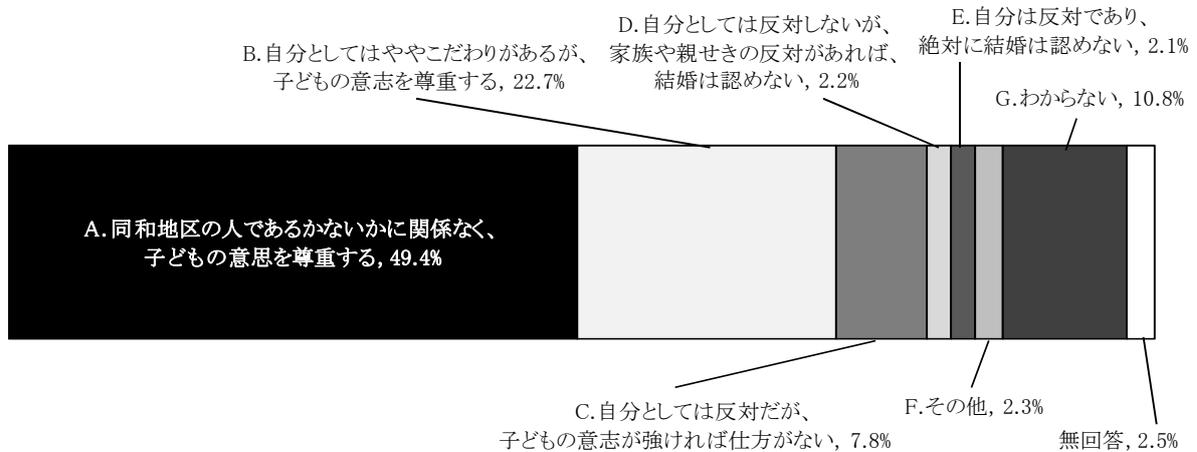
〔図 13-5〕 問 13-② 部落差別についての見聞き—その時の対応 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 13-5〕、50歳以上が「A.そのときは差別と意識せず、見過ごした」が2割近く、高い年代で回答率が高くなっている。また、「C.誤りを指摘した」は、20歳代と30歳代で4割を超えている。

### 問 14（結婚問題に対するあなたの対応）

あなたに未婚のお子さんがあると仮定して、そのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとする場合、あなたはどのように対応しますか。（ は1つだけ）



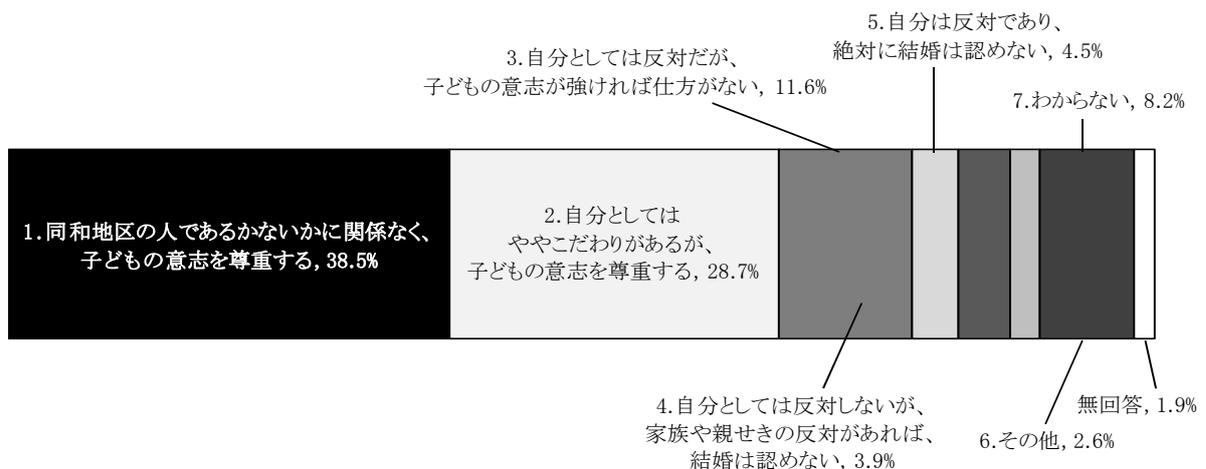
■同和地区出身者との結婚について、「A. 同和地区の人であるかないかに関係なく、子どもの意思を尊重する」(49.4%)が最も高い。次いで「B. 自分としてはややこだわりがあるが、子どもの意思を尊重する」(22.7%)となっており、結婚に肯定的な意見は合わせて72.1%を占める。

一方「C. 自分としては反対だが、子どもの意思が強ければ仕方がない」(7.8%)、「D. 自分としては反対しないが、家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない」(2.2%)、「E. 自分は反対であり、絶対に結婚は認めない」(2.1%)となっており、結婚に否定的な意見は合わせて12.1%となっている。

### 【参考】

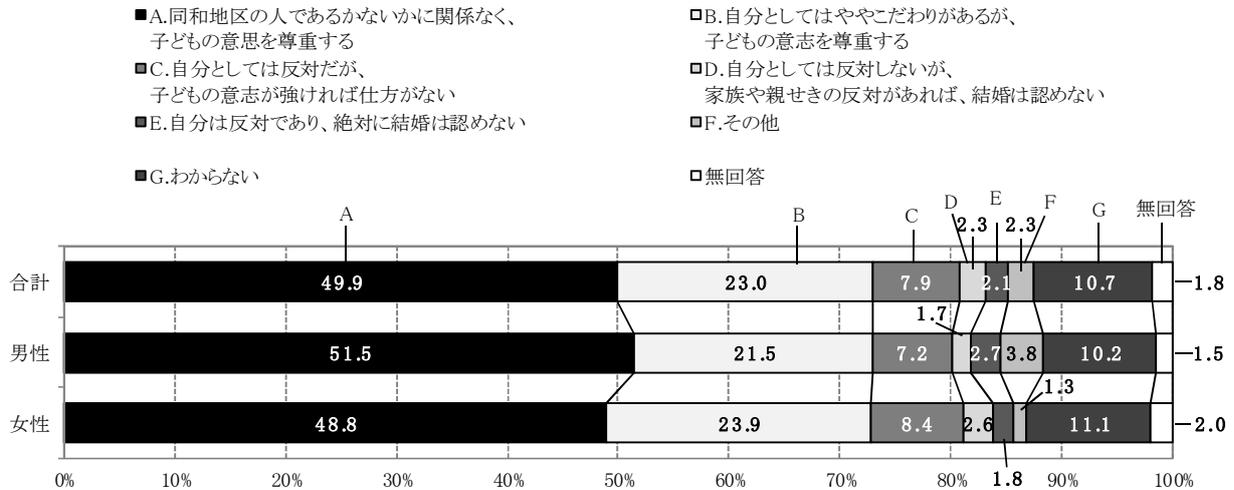
#### 前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 12 部落差別の解消の中で結婚差別は依然として深刻な問題です。あなたは未婚のお子さんがあると仮定して、そのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとする場合、あなたはどのように対応しますか。（ は1つだけ）



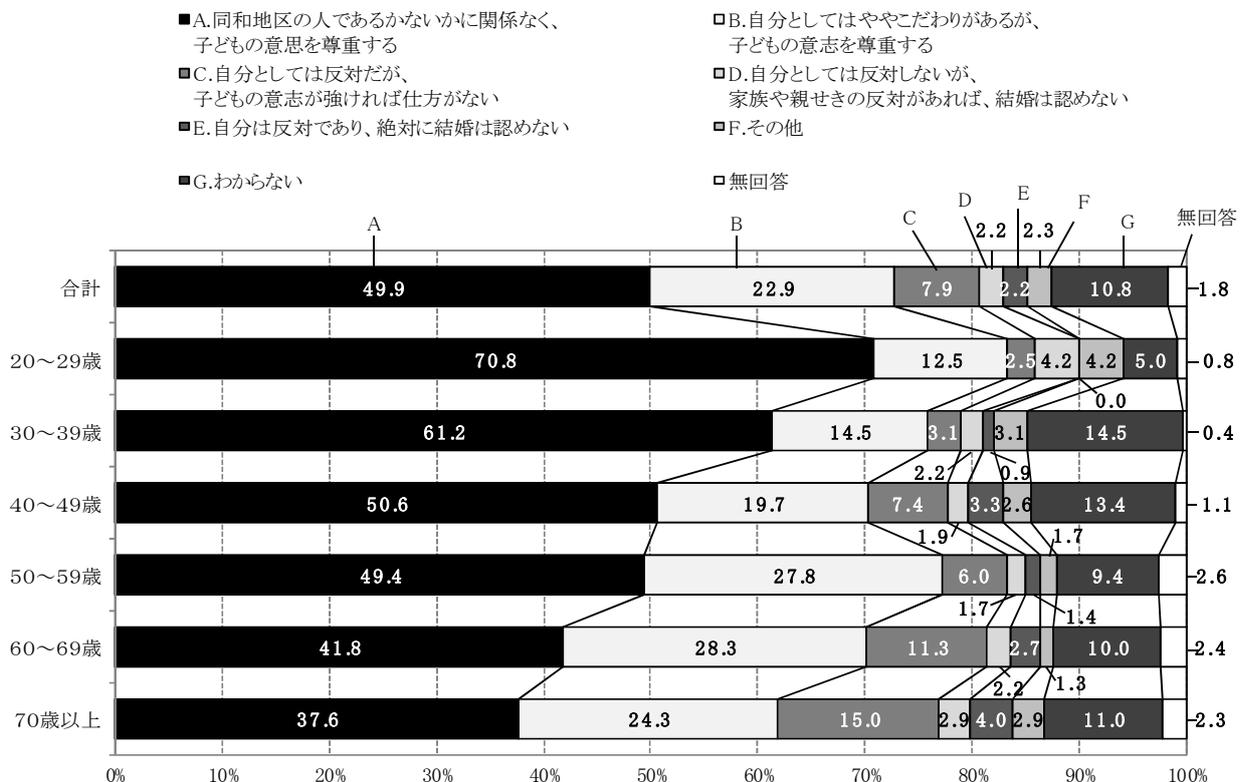
## 【性別・年齢との関係】

[図 14-1] 問 14-① 結婚問題に対するあなたの対応 と 性別 の関係



性別でも[図 14-1]、男女ともに「A. 同和地区の人であるかないかに関係なく、子どもの意思を尊重する」(男性 51.5%、女性 48.8%)、「B. 自分としてはややこだわりはあるが、子どもの意思を尊重する」(男性 21.5%、女性 23.9%)の順に高くなっている。

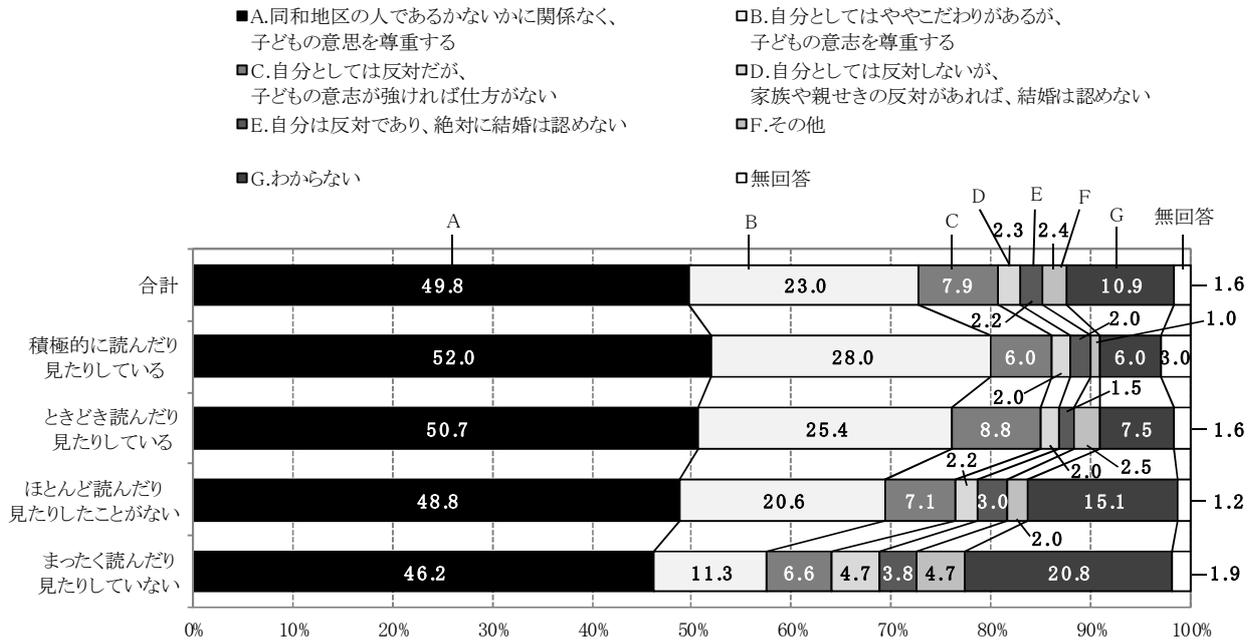
[図 14-2] 問 14-① 結婚問題に対するあなたの対応 と 年齢 の関係



年齢別で見ると[図 14-2]、「A. 同和地区の人であるかないかに関係なく、子どもの意思を尊重する」は20歳代(70.8%)、30歳代(61.2%)、40歳代(50.6%)、50歳代(49.4%)、60歳代(41.8%)、70歳以上(37.6%)と年代が低いほど高くなっている。

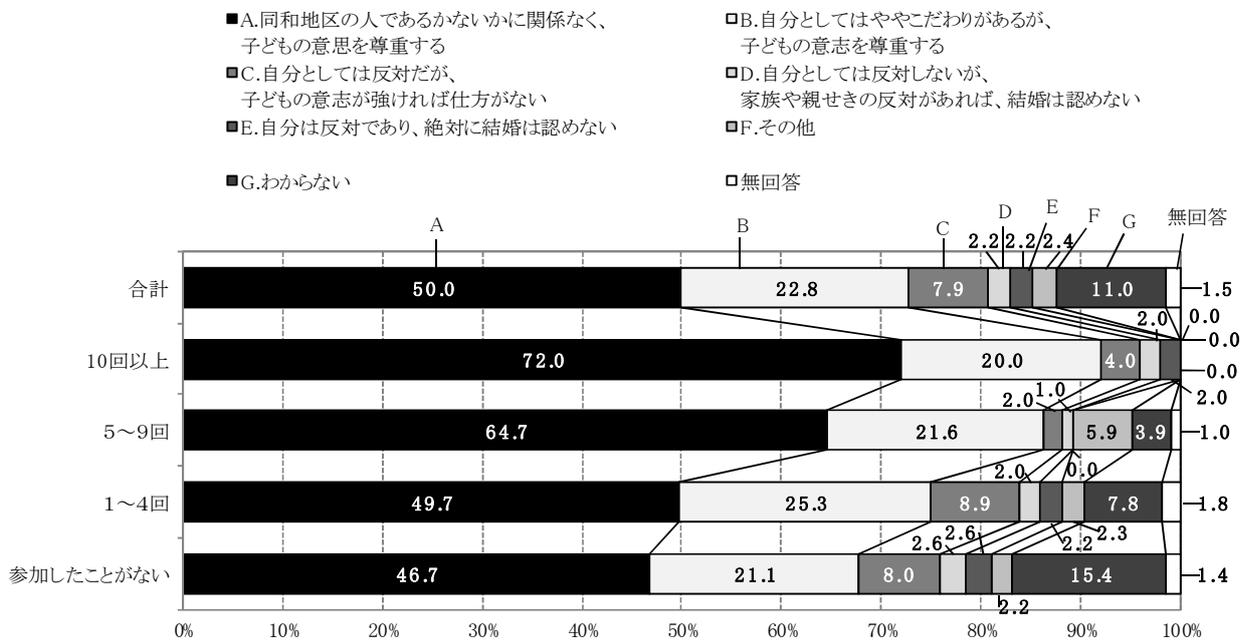
【他の設問との関係】

【図 14-3】 問 14-① 結婚問題に対するあなたの対応 と 問 8-① 啓発物に触れた経験の関係



問 8-（啓発物を読んだり見たりした経験があるか）との関係でみると[図 14-3]、啓発物を読んだり見たりしている人ほど「A.同和地区の人であるかないかに関係なく、子どもの意思を尊重する」という回答の割合が高くなっている。

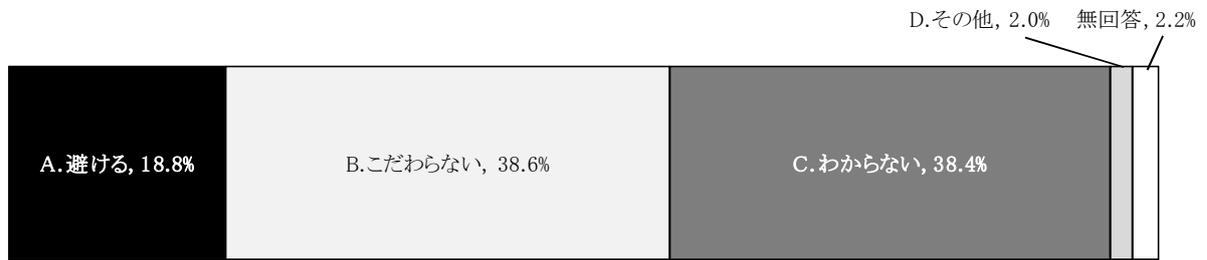
【図 14-4】 問 14-①結婚問題に対するあなたの対応 と 問 9-① 研修会等への参加回数との関係



問 9-（研修会等への参加回数）との関係でみると[図 14-4]、研修会の参加回数が多い人ほど、「A.同和地区の人であるかないかに関係なく、子どもの意思を尊重する」という回答が高くなっている。

### 問15（同和地区にある物件に対する忌避意識）

あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区にある物件を避けることがありますか。（は1つだけ）

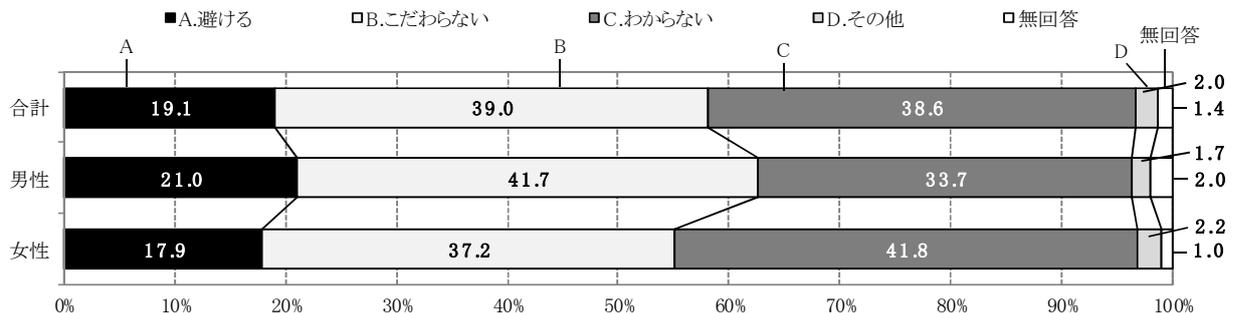


■同和地区の物件に対する忌避意識（避けようとする意識）について、「A. 避ける」が18.8%である一方、「B. こだわらない」は38.6%にとどまっておき、県民の同和地区に対する忌避意識が今なお残っていることがうかがえる。

前回調査なし

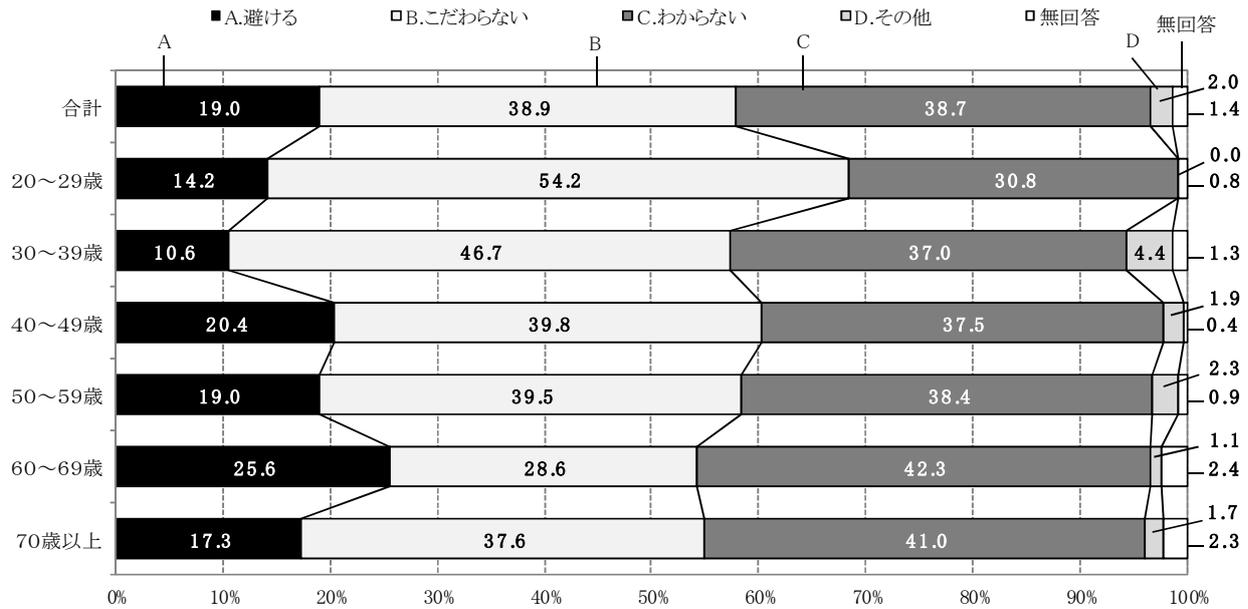
#### 【性別・年齢との関係】

【図15-1】 問15-① 同和地区における住宅と性別の関係



性別でみると[図15-1]、男性では「B. こだわらない」、「C. わからない」、「A. 避ける」の順。女性では「C. わからない」、「B. こだわらない」、「A. 避ける」の順となっている。

【図 15-2】 問 15-① 同和地区にある物件に対する忌避意識 と 年齢 の関係

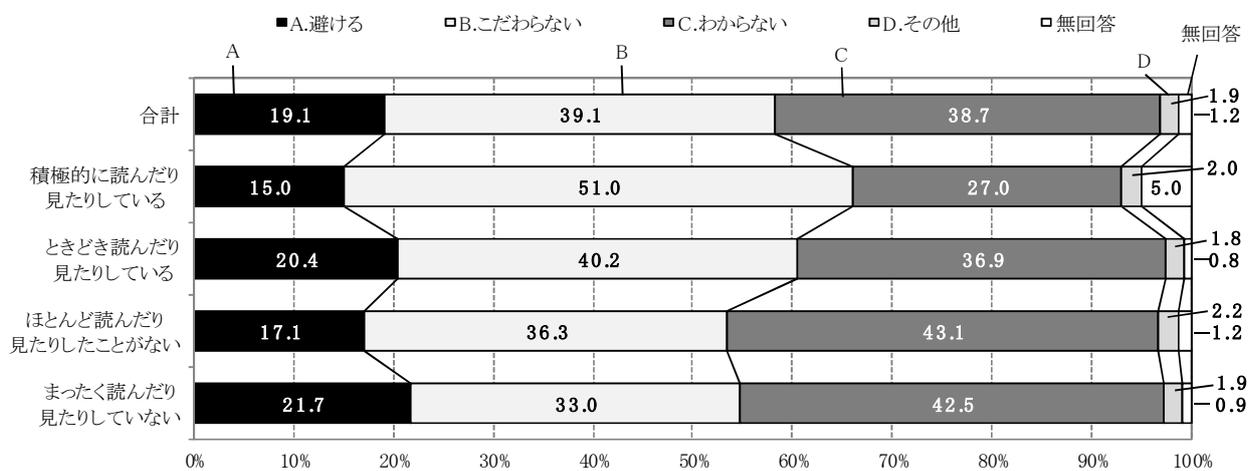


年齢別でみると[図 15-2]、「A.避ける」は40歳代、60歳代で2割を超えている。逆に、「B.こだわらない」は20歳代では5割、30歳代では4割を超えている。

また、「C.わからない」は20歳代(30.8%)、30歳代(37.0%)、40歳代(37.5%)、50歳代(38.4%)、60歳代(42.3%)、70歳以上(41.0%)となっている。

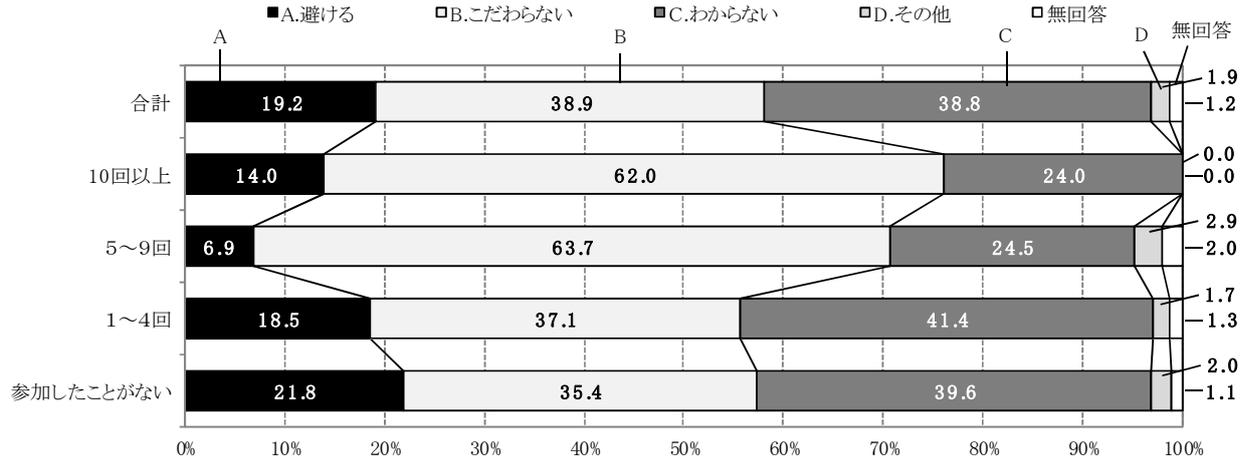
【他の設問との関係】

【図 15-3】 問 15 同和地区にある物件に対する忌避意識 と 問 8-① 啓発物に触れた経験の関係



問 8- (啓発物を読んだり見たりした経験があるか)との関係でみると[図 15-3]、読んだり見ている人ほど、「B.こだわらない」が高い。

[図 15-4] 問 15 同和地区にある物件に対する忌避意識 と 問 9-① 研修会等への参加回数の関係



問 9- (研修会等への参加回数)との関係でみると[図 15-4]、参加回数が 5 回以上の人のおよそ 6 割以上が「B.こだわらない」と回答している。